

平成 24 年度 第 1 回 地域防災・マネジメント研究センター運営委員会
議事録

日時：6月5日 15:30～17:00

場所：山梨大学工学部 B1 号館 C 会議室

出席者：山梨県（八木（代理 城野），宮原，酒谷（代理 藤森），石原（代理 五味）

山梨大学（鈴木，佐々木，平山，村上（代理 後藤），末次，秦）※敬称略

（委員 13 名に対して出席者 10 名，委任状 2 名で 12 名であり，運営委員
会は定足数に達した）

配布資料

24-1-1 平成 23 年度第 2 回運営委員会議事録

24-1-2 出席者名簿

24-1-3 センター要綱改正案

24-1-4 事業計画（中山間地域の孤立化対策）

24-1-5 事業計画（災害時インフラネットワーク維持施策）

24-1-6 事業計画（情報システム）

24-1-7 事業計画（防災教育）

24-1-8 防災研修会（水害編）報告

議事：

(1) センター長挨拶

(2) センター要綱改正について

消防防災課を防災危機管理課に改正することが承認された。

(3) 平成 24 年度の事業計画について

1) 中山間地域の孤立化対策

・県土整備部としては、集落孤立化の可能性の検討までについて、本事業においてセンターと連携する。集落の孤立化ソフト対策については、防災危機管理課がセンターと連携する。

・県防災危機管理課が南部町交通防災課と打合せ、集落の孤立化に対するソフト対策を防災訓練で試行することを確認した。県防災危機管理課が南部町と打合せ、候補集落を選定する。センターとしてもできる限りの協力をする。

2) 災害時インフラネットワーク施策

・県土整備部として、本事業に必要な道路情報提供のための調整を行う。

3) 情報システム（山梨減災情報システム）

- ・防災危機管理課としても市町村への調整に尽力したい。
- ・県土整備部で運用、開発中の情報システムと山梨減災情報システムとの関係が懸念されたが、山梨減災情報システムの有するシステム連携の仕掛け（情報共有データベース）があるので、センターと県土整備部で事前調整すれば相互運用は容易にできる。
- ・甲府市への災害対応管理システム導入を通して、県全体の災害情報システムの方向性を協議するのが良い。
- ・市町村が入力する災害情報システムは1つに統合すべき。

4) 防災教育

- ・県としても自主防災リーダー養成講座だけでは不十分と認識している。
- ・県では今年度より3年計画で市町村への防災士養成のための助成制度を始めたところなので、予算の検討を要する。

山梨県としての防災士養成講座の実現に向けて、センターと県防災危機管理課で検討を進める。

(5) その他

- ・末次委員より5月に実施された防災研修会（水害編）の報告があった。
- ・宮原委員より県からの事業提案も必要ではないかとの意見が出された。センターとしても県の事業提案も歓迎したい（鈴木委員長）。定例の運営委員会の他に、臨時の運営委員会で承認し、実施することができる。

(6) 閉会

（文責：鈴木猛康）

以上